

平成24年度 多摩区地域課題対応事業 実施結果

I 安全・安心まちづくり事業費	予算額 2,441,000円	決算額 2,406,474円
------------------------	-----------------------	-----------------------

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
1-1 多摩区安全・安心まちづくり推進事業 【危機管理担当】	<p>区民・地域、警察、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等に取り組む推進体制を整備し、安全・安心に関する情報の提供、のぼり旗、パトロール用ベスト等の提供、路面標示や立看板等の設置と維持管理等を通じて、区民が安全で安心して生活できるまちづくりを推進することを目的とする。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○パトロール用ベスト、のぼり旗の貸与を通じて、町内会・自治会、老人クラブ、PTA等の見守り活動の促進を図った。</p> <p>○交通安全教室を幼稚園・保育園、小学校等で延べ54回、5,615人の区民を対象に実施した。</p> <p>○春、夏、秋、年末の各交通安全運動期間において道路公園センターと連携して、交通安全及び自転車放置防止の啓発キャンペーンを実施した。</p>	<p>予算額：1,545,000円 決算額：1,520,285円</p>
1-2 市民防災活動支援事業 【危機管理担当】	<p>地域住民の防災意識の向上と地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織の育成に努め、防災に関する実践的な講座や救急員養成講座のほか、防災フェアの開催等を通じて、地域の防災力の強化を支援する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○市民救急員養成講座(10月30日～11月1日)を開催し、自主防災組織及び区民21人が参加し、災害対応能力の向上を図った。</p> <p>○12月12日に開催した防災フェアには500人、同日に開催した防災セミナーには85人と多くの区民が参加し、防災意識の向上、防災に関する知識や技術の向上を図ることができた。</p> <p>○区内7つの避難所運営会議において、避難所運営訓練が実施され、地域内の各自主防災組織間の連携並びに、災害時の避難所の管理運営能力の向上が図られた。</p> <p>○避難所運営ゲーム(HUG)を用いた図上訓練を区内3つの避難所運営会議で開催し、災害時の避難所の管理運営能力の向上を図った。</p> <p>○11月28日に多摩区防災連絡会議を多摩区内の企業や大学等の出席を得て開催し、災害時の連絡体制等の確認を行うとともに災害時の連携の推進を図った。</p>	<p>予算額：611,000円 決算額：610,260円</p>
1-3 まちなか交通安全開催事業 【危機管理担当】	<p>スタントマンが自転車対自動車の交通事故等を再現、受講者の視覚に恐怖感を訴えることで事故を疑似体験させる「スケアード・ストレート方式」の交通安全教室を開催し、粗暴な自転車利用がいかに危険かを理解してもらい、安全な乗り方の認識を徹底する。</p> <p>■事業対象：区内高校生徒、区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区交通安全対策協議会 ■開始時期：平成23年度</p>	<p>○9月15日、市立菅小学校校庭にて実施。県立菅高校から10名の生徒が受講。菅町会の協力を得て、近隣住民200名が受講。</p> <p>自転車対自動車の交通事故をスタントマンが再現することで、講話形式の交通安全教室よりも衝撃的であり、交通事故の危険性は伝えられた。自転車を利用する機会が多い地域の方々に、自転車の危険な乗り方を認識してもらうことで、自転車マナーの意識向上を図ることができた。</p> <p>また、新聞等に掲載され、より多くの方々の目に触れたことで、二次的な啓発ができた。</p>	<p>予算額：285,000円 決算額：275,929円</p>

II 地域福祉・健康づくり事業費

予算額 1,512,000円 (当初予算額 924,000円)

決算額 1,467,171円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
2-1 パサージュ・たま開催事業 【地域保健福祉課】	障害福祉に関する理解と関心を深めるために、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催している。障害に関する活動をしている団体・作業所等が運営を担当し、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を行っている。また、広報については、区ホームページやチラシ等により開催日を周知し広く参加を呼びかけている。 ■事業対象：区内障害者施設とその利用者及び区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	障害に関する活動をしている団体・作業所等により、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催し毎回盛況となっている。 区役所アトリウムにて「パサージュ・たま」を実施することは、障害福祉に関する普及啓発の一環として有効である。同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解しあうことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所が普及啓発活動を行える場はごく限られている。「パサージュ・たま」は、区民の多くが利用する区役所総合庁舎のアトリウムを有効に利用し、障害者自身と多くの人々が直接関わりあえる場を提供している。 また、定期的の実施することで、区民に対する周知も図られ、「パサージュ・たま」を目的に来庁される方もいる。	予算額：108,000円 決算額：107,934円
2-2 健康づくり推進事業 【地域保健福祉課】	多摩区の特徴を生かした場所、もの等により幅広い世代が交流し、食に対して、また健康づくりに対する普及啓発を目的とする。 ○体験イベント2回実施 (多摩区健康フェスタ2012・食育イベント) ○区民向けの講演会1回実施 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	○健康フェスタの実施 9月に実施し延べ2,130人の参加を得、健康・介護・食育の情報発信や地域コミュニティ作りが行えた。 ○区民向け講演会の実施 2月に実施し48名参加。同時に食育交流会を行い、区内の食育実践団体や個人の活動報告や交流を行った。 ○地産地消体験イベントの実施 10月に「食育の秋 in よみうりランド～里芋掘りと芋煮会～」を小学生親子を対象に、JAセレサ・よみうりランド・菅町会と協働で多摩区農業生産者やJA女性部・食生活改善推進員の協力を得て実施し108名参加。食育の普及や農業体験を行いながら世代間交流の場となった。	予算額：367,000円 決算額：351,902円
2-3 精神保健普及啓発事業 【保健福祉サービス課】	多摩区の精神保健福祉に関する課題の解決に向けて、地域が抱える問題をテーマにした講演会を開催するなどして、精神保健福祉の普及啓発を進めていく。また、支援者に対して学習会等を実施し、支援技術の底上げを目指す。さらに、多摩区の精神保健福祉に携わる関係機関のネットワークの一層の構築にも取り組んでいく。 ■事業対象：区内の精神障害者とその支援者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区精神保健福祉連絡協議会 ■開始時期：平成23年度(新規事業)	今年度は、昨年に引き続き「防災」をテーマに取り組み、年4回の精神保健福祉連絡会議において、講演会の開催や普及啓発用パンフレットの作成について計画的に検討を進めたことにより、11月の講演会は40名ほどの市民の参加があり、アンケートでは大多数の方から「良かった」というご意見をいただいた。 また、普及啓発用パンフレットを作成するために作業部会を設け、今年度作成した。	予算額：165,000円 決算額：164,185円
2-4 スポーツ推進委員スキルアップ事業 【地域振興課】	スポーツ推進委員が各担当区域(7地区①菅②中野島③登戸④宿河原・堰・長尾⑤生田東⑥生田北⑦生田南)で健康づくりの推進役として活躍できるよう、指導技術のスキルアップを行うとともに習得した技術の還元を図る。 ■事業対象：体育指導委員(現名称：スポーツ推進委員) ■事業形態：全部委託 ■実施主体：学校法人聖マリアンナ医科大学 ■開始時期：平成19年度	スポーツ推進委員が専門的知識・技術を身につけるため、聖マリアンナ式筋力アップ体操を区役所・出張所で各2回実施することで、地域に貢献するための健康づくりに対する理解、技術の向上を図ることができた。 また、川崎市多摩スポーツセンターで9月に実施した区民体力テストの集いにおいて、習得した知識・技術を参加者向けに指導することができた。	予算額：284,000円 決算額：283,500円
2-5 パートナリシップ連絡会開催事業 【地域保健福祉課】	第3期多摩区地域福祉計画で定めた5つの地域福祉の圏域で、町会・地区社協・民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター・障害者生活支援センター・公園体操・いきいき体操・子育てグループ・NPO法人・行政などの地域の保健福祉に関わる機関や組織が参加する連絡会を開催し、お互いの顔をつなぎ地域の課題や解決方法などについてともに考える。 ■事業対象：区内の福祉関連団体 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域 ■開始時期：平成24年度	○ワークショップを開催 地区(登戸・中野島)で1回ずつ開催 ワークショップの結果、地域課題の解決に向けた具体的な意見が多く聞かれ、参加者同士で課題およびその解決に向けた動きの共有がなされた。 また、前回とほぼ同じメンバーでワークショップを行ったため、顔の見える関係についても前回よりも強まった。参加者同士が直接個別に情報交換をし、団体同士のつながりに結びつきそうな場面も見られた。	予算額：588,000円 決算額：559,650円

Ⅲ 総合的こども支援事業費

予算額 15,032,000円

決算額 14,416,492円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
<p>3-1 多摩区こども総合支援連携事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多摩区こども支援基本方針（たまっこプラン）に基づき、関連する団体・機関・行政のネットワークを活かした地域子育て支援を推進する。</p> <p>■事業対象：区内の子育て支援関係機関・団体・グループ ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○連携会議を3回開催 ○課題別ニーズ調査の実施と報告書の作成 ○地域団体活動紹介冊子の作成 ○区内の子育て支援事業の実施状況の把握</p> <p>妊婦、就学前の子どもの保護者を対象に、課題別ニーズ調査を実施し、調査結果報告書を基に地域団体や関係機関等と課題を分析・共有し、現在区内で実施している子育て支援事業のあり方について、それぞれの担える役割を明確にするなど、協議を深められた。</p> <p>地域の子育て支援事業の実施状況として、各団体や関係機関の取り組みの進行管理表を活用し、活動状況の共有を図り、活動の中で抱える課題や協力し合えることなどについて協議を深めた。</p> <p>その他、子育て世代の区民へ地域の子育て支援活動の情報を発信するために、地域団体活動紹介冊子を作成した。</p>	<p>予算額：2,452,000円 決算額：2,400,120円</p>
<p>3-2 多摩区幼・保・小連携事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>発達の連続性をふまえた子どもの育ちや一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育園・小学校が連携を図り、情報交換や保育実習研修等を実施し支援体制作りを進める。</p> <p>連絡会や交流事業を通し、私立幼稚園、公私立保育園、及び小学校の職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題等について話し合い、情報共有や交流を行いながら、相互協力・連携を進める。</p> <p>■事業対象：区内の幼稚園・保育園・小学校 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○日常交流の推進（園児、児童対象） ○授業参観、行事参観、懇談会の実施（職員） ○実務担当者連絡会開催 年2回 ○園長・校長連絡会開催 年1回 ○代表者連絡会 ○幼稚園保育園実習研修実施（夏期休業中他） ○ちらし「生活リズムをつくりましょう」作成、配布</p> <p>平成23年度（70施設）より参加対象を区内の全ての幼稚園・保育所等・小学校（76施設）とし事業を実施中であり、地域における連携のさらなる充実を図ることができた。</p> <p>また、保育実習研修については、今年度より対象を小学校教諭のみならず幼稚園教諭、保育士にも広げ、互いの保育現場を見合う機会を設けた。昨年度より倍以上の参加実績があり、就学前の子どもの理解や教育・保育内容の理解等について関心・必要性の高さを確認するとともに、さらなる連携の在り方について考えを深める機会となった。</p>	<p>予算額：293,000円 決算額：223,034円</p>
<p>3-3 公立保育所の地域支援推進事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>就学前児童の増加や待機児童の増加という保育所を取り巻く現状への対応策として、民間保育所への人材育成等の運営支援が求められている。</p> <p>また、虐待通告件数や育児不安、発達障害児の増加などで子育て支援ニーズへの対応強化が必要である。それらに適切に対応していく為に第2期保育基本計画を受け、平成23年度から区移管になった公立保育所8園で次のような事業を行う。</p> <p>（1）地域への子育て支援事業 地域のこども・子育て支援機能の強化 ①保育体験 ②こどもの発達に関する相談 ③プール開放・水遊びの提供</p> <p>（2）区内保育所職員への研修事業 民間の保育所等への交流・支援を目的とした人材育成 ① 事支援 ②保育園児や職員の交流・研修等</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子、認可保育所と認可外保育施設の保育士・園児 ■事業形態：直営、緊急対応事業 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成23年度（新規事業）</p>	<p>○食事付き保育体験の実施 899名の参加 ○外部講師を招いた人材育成研修の実施 年3回 613名の参加</p> <p>事業計画に基づき、計画通り区内公営保育所全園で食事提供付き保育体験を実施し、昨年度を大きく上回る数の参加があった。</p> <p>子どもの発達に関する相談については、区内の発達相談支援コーディネーターがリーフレットを作成し、様々な地域支援事業において周知を図ったところ、通年で47件の相談が寄せられた。</p> <p>プール開放及び水遊びの提供を区内公営保育所全園で実施し、地域の未就学時親子及び小規模保育所等による申し込みがあり、計415名の利用があった。ビニールプールの設置等、環境設備を整えたことも受け入れ枠増大につながった。</p>	<p>予算額：1,118,000円 決算額：1,060,228円</p>

<p>3-4 こども・子育て普及啓発事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>子育て支援者を対象とした各種研修や地域全体に向けての子育てへの理解を深めてもらう普及啓発、親を対象とした子どもに関する講座や子育て不安及びストレスの軽減を図る催し等を実施する他、多摩区こども総合支援連携会議等で出された地域課題をテーマにした事業等の実施。</p> <p>■事業対象：区内の親子・子どもに関わる機関 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○「こどもたちの良き理解者となるために」 12/6 40名参加 ○「こどもの特性に寄り添う子育て」12/14・21 37名参加 ○「いじめ・不登校を考える」 1/22 16名参加 ○「学習障害（LD）の理解と支援」講座 1/29 16名参加 ○「子どもとの！妻（夫）との！絆を深めるコツ」 3/9 20名参加</p> <p>発達障害や父親の育児参加等、意識調査でニーズの高いテーマに加え、昨今関心の高まっている”いじめ”をテーマに開催した。テーマを絞ったこと、発達障害に関しては保護者のみを対象にしたこと等から、参加人数は少なかったが、参加者ひとりひとりから「分かりやすかった」「具体的に理解できた」と好評だった。昨年の講座のアンケートを踏まえ、講師との質疑応答時間の充実や、講師・親の会のアドバイザーを交えた意見交換会を設けるなど工夫し、参加者の実践に結びつけられるような内容になった。</p>	<p>予算額：326,000円 決算額：277,457円</p>
<p>3-5 スーパーバイズによる相談機能強化事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多問題ケース等に対して問題を軽減し、子どもの健やかな育成を支援するために、スーパーバイズによって、相談過程についてケースの状況の分析・見立て・支援方法などの助言を受け、ケース支援の充実と併せて職員のスキルアップを行い、また、関係機関からの事例提出や参加により、機関連携の強化を図る。</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と保護者 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成24年度</p>	<p>○多摩区内の子育て支援機関において処遇困難事例について、状況の分析・課題の抽出・各関係機関の役割等の支援方法におけるスーパーバイズの実施 年4回、5事例検討、8機関から44人出席 ○スーパーバイズ事例を中心として、ケース研究及び支援手法の検証についてのまとめ・検証報告の作成</p> <p>一つの事例について関連機関が集まって検討することで、情報共有・スキルアップに加え、その場で必要な機関と連携することが可能となり、ネットワークの強化に繋がった。また、継続して実施することで、スーパーバイズに基づいて支援した結果を報告・評価することが可能となり、検討内容を即支援に反映させ、より適切な支援へとつなげることができた。更にこうした経過を報告書にまとめることで、ケースワークの手法の蓄積となり、今後の支援に生かしていけると考えられる。</p>	<p>予算額：192,000円 決算額：191,753円</p>
<p>3-6 親と子の集いの場づくり事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>家庭で保育している親子を主な対象に、楽しく集い、遊ぶ場の提供やこどもが安全に遊べる環境整備を地域の子育て支援者等と協働で実施する。育児不安やストレスの軽減及び親同士の交流を図るとともに、地域の子育て支援環境の充実の一助とする。</p> <p>(1) 多摩区「ママとあそぼうパパもね」事業 (2) 多摩区子育て安全マット・玩具貸し出し事業</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と保護者 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○区内4地区4会場にて毎月1回（8月・9月除く）親子のふれあい、子どもに関わる身近な相談・情報を提供。また、歌や手遊び、体操、お誕生会等の催しを実施。 ①登戸地区（すかいきつず）②生田地区（生田道院）③中野島地区（中野島こども文化センター） ④昔地区（昔こども文化センター、6・7月のみ昔会館） 9月「たまたま子育てまつり」に参加、12月「交通安全教室」を実施 3月「親子ミニコンサート」を開催し、4地区合計358名の参加 「ママとあそぼうパパもね情報」「子育てワンポイント」等多摩区の子育て情報提供をホームページで随時発信。</p> <p>○公立保育園8園の地域支援担当者会議を開催 年4回 ○主催・共催者の連絡会を実施 年2回 ○安全マット・玩具貸し出しを行い、地域子育て支援事業への環境を整備すると共に定期的に点検を実施。</p> <p>年間の参加者数は2,604名。地域の子育て支援団体との協議も活発に行い、会場提供や運営スタッフ等地域との協働体制が整い、地区によって参加人数に差があるものの、参加の多い地区では人数制限を検討するほど事業として定着している。</p>	<p>予算額：579,000円 決算額：530,111円</p>
<p>3-7 多摩区「親と子の育児園」事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>乳幼児（主に0歳～3歳）を家庭で保育している親と子を対象に育児や父親参加等、子育てについての学習、相談、交流の機会を提供し、子育て力を養う。また、虐待予防施策の一助として地域の資源活用及び支援ネットワークへつなげる機会とする。</p> <p>■事業対象：区内のこども（3歳まで）と保護者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：NPO法人ままとんきつず ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○生田中学校特別創作センターでの実施（全区対象） ・6月～1月の土曜日、午前、12回開催 ・0～3歳児を対象に年齢別各クラスに20組公募 0歳児13組、1歳児18組、2,3歳児21組 参加 ・クラス別に、遊び、工作、育児に関する学習等を実施 ・随時子育てに関する情報提供 ○こども文化センターでの実施（該当地域対象） ・10月～11月の平日、午前、6回開催 ・2～3歳児を対象に20組公募 ・保育付講座として、「子どもの発達や関わり方への理解」、「遊びと成長」、「リラクゼーション」、「地域との関わり等に関する学習」等を実施 ・随時子育てに関する情報提供</p> <p>子育て支援センターや子育てサロンなど、0歳から1歳児の参加が多く、動きが活発になる2歳から3歳児の親が安心して参加しにくいという課題がある。今年度事業を年間18回開催から、12回と6回の2事業に分割し、6回開催については2～3歳児を対象にこども文化センターを会場とした地区型開催として実施した。23組の申込があり、出席率も良好であった。地区の子育て支援団体や関係機関からの活動紹介もあり、終了後も継続して参加している親子もみられた。また、地区の子育て支援団体や関係機関との打合せ等も行い、事業の実施をきっかけに連携強化につながった。参加者のアンケートからも、子どものイヤイヤの対応に困り、子育ての不安や悩みを抱えている参加者も多く見られたが、他の母親たちと話せたり、地区の子育て支援活動につながったりしたことで、有意義である旨の回答を多く得られた。従来の生田中学特別創作センターでの育児園は0歳児の申込が少なかったため、対象年齢については検討していく。</p>	<p>予算額：1,655,000円 決算額：1,653,908円</p>

<p>3-8 親育て・子育て支援者養成事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>育児不安や虐待予防に対応するため、学習や実習の場を提供し、併せてさまざまな世代による育児状況の経験交流等により、現状の理解や実践力を養い、地域における子育て支援者を養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：NPO 法人ままとんきっず ■開始時期：平成 20 年度 	<p>○講義 16 回(2 回は公開講座 2 回の交流会含む)</p> <p>○実習 6 回実施 計 22 名参加</p> <p>前年度行った受講者アンケート結果から要望の多かった「子育て環境と子育て支援」「お母さんの悩みに寄り添う」などの講義を組み入れるなど、支援者養成として専門性を高めたプログラムにして内容の充実を図った。毎回の参加率は非常に良く、講座の途中からボランティア活動に参加する方がいた他、乳幼児を持つ参加者からも地域の子育て支援に関わりたいという感想が多く出されていた。</p>	<p>予算額：992,000 円 決算額：989,823 円</p>
<p>3-9 多摩区子育て支援パスポート事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多摩区商店街連合会との協働により、区内の妊娠中から 18 歳未満の子どもがいる家庭へパスポートを発行し、地域内での声かけや見守りによる地域でのコミュニケーションを高め、子育てを地域社会が一体となって支援する。具体的には、パスポートカードを協賛店に提示し、店独自のサービス提供やイベントの実施とともに商店街の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：妊婦及び 0 歳から 18 歳までの子どもを持つ家庭 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区商店街連合会 ■開始時期：平成 19 年度 	<p>○パスポートの発行の推進 パスポート 1,006 枚発行（12 月末時点）</p> <p>○商店街連合会との子育てイベントの共催、事業の協力 抽選会約 1,000 人参加</p> <p>パスポートの発行など継続的に実施している。ホームページに掲載する協賛店を取材し掲載した。「たまたま子育てまつり」においては商店街連合会と協力して抽選会を実施した。また、新しいデザインのステッカーを作成し、協賛店のアピールやイメージアップを図った。</p>	<p>予算額：673,000 円 決算額：672,430 円</p>
<p>3-10 多摩区こども総合支援に係る情報収集・発信事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>子育て家庭のニーズに応じて、多様な情報提供を行うことで、親の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へつなげる機会とする。また、広報面での団体支援を行うとともに、区民や地域団体と協働で地域情報の積極的な収集・発信を行うことで、市民活動支援・コミュニティの活性化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区内の妊婦～子どもを持つ家庭 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成 17 年度 	<p>○子育て情報ブック 5,300 部発行</p> <p>○ホームページの更新等 子育てカレンダー更新 6 回 子育て WEB 更新年 3 回(他詳細訂正年 20 回) 全体メンテナンス 1 回</p> <p>○ちらしコーナーでの情報提供・広報支援 年間随時</p> <p>子育て情報ブックについては、子育て支援機関の要望を受け 300 部増刷し、区役所・行政サービスコーナーだけでなく地区の施設から配布希望があれば子育て関連施設でも入手できるようにした。ホームページの更新等については、市・区のホームページのリニューアルや子育て応援ナビのリニューアルに合わせ調整を行いながら、構成や掲載内容を検討し、新 CMS での情報提供を行った。地域子育て支援活動・事業の広報及び交流支援については、こども・子育て情報コーナーを拡充した。また、広報ちらし(A4 両面カラー三つ折)の内容を改定して、子育て支援事業や子育て情報の入手方法についての紹介を行った。</p>	<p>予算額：1,562,000 円 決算額：1,560,432 円</p>
<p>3-11 多摩区こどもの外遊び事業 ※区民会議関係</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>第 1 期多摩区区民会議の審議結果を受けて、生活環境や家族のあり方、ライフスタイルの変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化していることから、運動場や公園等の広場、周辺にある自然環境の中で子どもの創造力を培う「こどもの外遊び」を推進し、子どもの知育や子育てを楽しむ場を地域で展開していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区内の子どもと保護者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区こどもの外遊び委員会 ■開始時期：平成 20 年度 	<p>○外遊び事業：地域主体の実施を推進し、地域主催 2 回含む 7 回実施。うち 1 回は公園コミュニティ事業と共催(参加延人数 3,372 名 12 月末現在)</p> <p>○リーフレット作成</p> <p>○外遊び普及講座(3 日間)の実施</p> <p>地域主体での外遊び推進を目標に、昨年同様宿河原町会主催の外遊びに加え、新たに三田第 2 公園で三田台自治会との協力のもと外遊びが行われ、定期的な開催が可能となった。また、外遊びの普及と人材の発掘を目的にワークショップと実習を組み合わせた 3 日間講座を実施し 13 名が参加した。さらに、外遊びがこどもの成長にもたらす効果をうたった新たなリーフレットを作成した。</p>	<p>予算額：982,000 円 決算額：981,622 円</p>
<p>3-12 大学との連携による教育課題調査事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多摩区内に立地する大学の一つである日本女子大学は、教育・児童福祉系の学部を有し、豊富な知的資源を有している。この特徴を生かして、区内の小中学校等の教育現場における様々な課題を調査し、シンポジウムや報告書を通して、学校における教育課題とその解決に向けての方策を、区や学校等と共有することにより、総合的なこども支援の一環として、教育環境の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区内の子どもと保護者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成 24 年度 	<p>○調査に当たった学生数：10 名</p> <p>○派遣施設：小学校 8 校、幼稚園 1 園</p> <p>教育現場における様々な課題及びそれらに対する取り組みの実際や、取り組みの充実に向けた改善策について調査を行い、得られた情報を区、大学、小中学校等で共有すべく、シンポジウムを開催し、参加者間で活発な意見交換、協議が行われた。これらの内容を含め、報告書を作成し、区内の小中学校等に配布した。</p>	<p>予算額：640,000 円 決算額：389,495 円</p>

<p>3-13 幼児の発達支援事業</p> <p>【保健福祉サービス課】</p>	<p>「ことばが遅い」「多動」「こだわりが強い」など精神及び社会性の発達に関する不安や育てにくさを感じている幼児と保護者に対し、幼児の発達を促す支援と保護者の育児不安及び育児負担の軽減を図るよう支援する。</p> <p>■事業対象：児童の養育に困難さや心配を抱えている親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保健福祉サービス課 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○1歳6か月児健康診査後のフォロー教室 年12回実施 ○3歳児健康診査後のフォロー教室 年12回実施 ○3歳児健康診査併設の心理相談員による個別相談 年36回実施</p> <p>心理職・言語聴覚士・保育士・体育指導員・保健師が多方面から関わり、集団遊びの体験や親同士の交流、個別相談を実施し、育児不安の軽減や親が子どもの発達を理解し、その子にあった対応ができるよう支援することができた。</p> <p>3歳児は運動面や精神の著明な発達が認められる時期であると同時に、個人差が顕著に現れる時期でもある。発達の遅れが疑われた場合、心理相談員による個別相談を実施した。これにより、保護者が児の成長をどのように受け止めているかを十分把握し、慎重に療育につなぐことができた。</p> <p>発達の偏りから育てにくさや児との関わりにくさがある場合、虐待のリスクが高い。この事業を実施し、支援することで虐待予防に繋げることができた。</p>	<p>予算額：1,666,000円 決算額：1,644,100円</p>
<p>3-14 生きがいと楽しさを持つ子育て交流支援事業</p> <p>【保健福祉サービス課】</p>	<p>地域のボランティアと共に、子育て中の親子が気軽に集まれる場を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験すると共に、親子の交流や地域の方との交流を推進する。</p> <p>区役所で実施する各種乳幼児健診・相談・予防接種を、親子共に安心・安全に受診できるようにサポート体制を整え、相談の充実を図る。</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保健福祉サービス課、区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○地域サロン（4か所）40回 ○育児支援グループ（3か所）30回 ○各種健診144回・育児相談12回・予防接種10回に保育士及びボランティアを配置</p> <p>地域サロンや育児支援グループにおいては、保育士や地域ボランティアと交流することで、参加者が子育てに必要な地域情報を得ることができ、子育てを楽しみと感じる経験を重ねることで、育児不安や育児負担感の軽減を図ることができた。</p> <p>保育士やボランティアを配置することにより、各種健診・相談、予防接種事業において子どもの安全の確保と相談の充実が図られた。母子保健事業の目的である乳幼児及び保護者の健康の保持増進に寄与することができた。</p>	<p>予算額：1,433,000円 決算額：1,372,979円</p>
<p>3-15 たまたま子育てまつり開催事業</p> <p>【生涯学習支援課】</p>	<p>安心して子育てができる多摩区の地域環境づくりを進めるために、子育て支援団体・市民グループ・関係行政機関が協働により親子で遊べる場・子育て相談・子育てサークルの活動紹介などの多彩な交流の場を総合的に提供する。子どもも楽しく参加できるコーナーや保護者に役立つ知識・技術を普及させるなど、参加者が体験・学習できる子育て支援の場とする。</p> <p>また、「たまたま子育てまつり」終了後に、「子育てに関する講演会」を別途開催し、保護者に子育ての諸問題を考えてもらう学習機会を提供する。</p> <p>■事業対象：子育て中の親子及び子育てに関心のある市民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○たまたま子育てまつり 9/16(日)、参加者数約6,000名(わくたまた来場者を含む) ○たまたま子育てまつり講演会 10/21(日)、参加者数62名</p> <p>市民主導の企画・運営にしていく一歩として、既存の選出母体から出ている方を中心にして、参加団体の責任者を実行委員会に組み込む手法をとった。その結果、実行員委員自ら責任を持って、一定の自発的な動きをみることができた。</p> <p>たまたま子育てまつり10周年記念と「藤子・F・不二雄ミュージアム開館1周年事業」と併せて開催し、例年の3割増の来場があった。このまつりが多摩区民祭に次ぐ、多摩区の第二の祭典に成長していることがうかがえる。</p>	<p>予算額：469,000円 決算額：469,000円</p>

IV 環境まちづくり事業費

予算額 545,000円

決算額 491,342円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
4-1 カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略関連事業 【企画課】	地球温暖化防止に向けた施策として、イベント等でリユース食器を利用し、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を基本とした循環型社会の実現に向けた取組などを行う。 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成21年度	○夏休み!たまエコフェスタ開催 ○地球温暖化防止パネル展の実施 ○緑のカーテン大作戦の実施 ○サマーミュージアムでのリユース食器を活用した取組の実施 ○多摩区役所職員「一人一エコ運動」の実施 エコに関連したイベントの開催など、地球温暖化防止に向けた取組(CCかわさき関連事業)を地域住民・団体と協働で推進し、区民の環境意識の向上を図るとともに、地域コミュニティの活性化につなげることができた。	予算額：350,000円 決算額：315,757円
4-2 水辺の愛護活動事業 【地域振興課】	憩える緑豊かな水辺づくりの観点から市内河川の6割を越える水郷という地域特性を守り育み、区民の環境愛護活動を推進するため、町内会や商店街、子ども会、市民団体、学校等の参加を得て河川沿いの清掃活動を協働で実施する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度	○清掃活動の実施 ・二ヶ領用水本川 9/30(日) ・二ヶ領用水宿河原線 10/13(土) 参加人数：約656人 二ヶ領用水宿河原線の清掃活動については、昨年度同様に近隣町内会・各種団体と連携し、10月13日に実施した。 また、今年度は、昨年度から実施している二ヶ領用水本川の清掃活動について、中学校及び昨年度より広範囲の近隣町内会自治会と連携・調整により実施し、より良い水辺の環境を守っていくための愛護活動を推進することができた。	予算額：195,000円 決算額：175,585円

V 地域資源活用事業費

予算額 29,316,000円 (当初予算額 29,284,000円)

決算額 28,178,476円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
5-1 観光振興・タウンセールス推進事業 【地域振興課】	多摩区を豊かな自然や文化財と身近で触れ合える新しい観光エリアとして広報宣伝し、区のイメージアップを図る。 また、観光客の誘致に努めるため、多摩区観光推進協議会と連携し、多摩区の魅力を市内外に積極的にアピールしながら、集客力の向上、交流人口の増加につなげる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。 ■事業対象：区民、近郊都市住民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区観光推進協議会 ■開始時期：平成19年度	○戦略観光ポスター、各種観光ポスター作成 ○地域情報誌(ぼど、タウンニュース等)による区内の魅力・情報発信 ○多摩区観光情報HPの情報更新 ○観光ガイドマップ、ガイドブックの整備 ○登戸ペDESTリアンデッキバナー事業 ○都市間交流事業(千葉県南房総市、静岡県藤枝市) 観光ガイドブックやガイドマップの発行、HP「多摩区見どころガイド」の更新等による広報・宣伝活動や、地域イベント・行事への出展、広報支援といったキャンペーン活動を実施し、区の内外に地域の魅力を発信した。 また、多摩区の交流都市である静岡県藤枝市、千葉県南房総市や、狛江市等の近隣都市において、それぞれのイベントに出展しPR活動を行った。 本事業の担い手である多摩区観光推進協議会との連携体制を強化し、区民の発意やアイデアを取り入れ、区民主体による事業展開を図った。	予算額：7,419,000円 決算額：7,341,480円
5-2 「音楽のまち・かわさき」多摩区事業 【地域振興課】	市の施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進するため、区民に対して音楽芸術に身近に触れる機会を提供し、併せて多摩区の魅力のアピールすることを目的として音楽事業を実施し、さらなる地域の文化環境の向上と意識の醸成を目指す。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成16年度	○たまアトリウムコンサート事業 5月、8月、11月、2月の第3水曜開催 各回来場者約120人 ○多摩川夕涼みコンサート事業 8/21 来場者約300人 ○たま音楽祭事業 12/1 来場者約1,500人 ○たまコミュニティコンサート 6/12、10/2 各回来場者約500人 区民に音楽芸術に身近に触れる機会を提供し、多摩区の魅力のアピールすることができた。夕涼みコンサート、たま音楽祭は、実行委員会形式をとり、協働による区民発意の企画運営を行った。 また、たま音楽祭は、ステージを1つ増やし、幅広い音楽性をもったイベントとすることができた。たまコミュニティコンサートは、小学校体育館という地域の身近な場所を活用し、区民に良質な音楽の提供を行うことができた。	予算額：3,887,000円 決算額：3,866,966円
5-3 里地里山の保全活動事業 【地域振興課】	自然の豊かさや大切さを体験してもらうことを目的に、区内の青少年をはじめとした住民に大小様々な森と触れ合う機会を提供するため、生田緑地を中心とした身近にある森で事業を実施する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：自然体験のつどい実行委員会 ■開始時期：平成2年度	○実行委員会会議 4回 3/9 生田緑地中央広場および「かわさき宙と緑の科学館」にて開催。来場者約800人 実行委員会を構成する関係団体をはじめ多くの団体の協力により、生田緑地の自然に関するパネル展示による学習や、自然とふれあえる体験学習であるネイチャーゲームなどを実施した。 また「かわさき宙と緑の科学館」と連携し、青少年が自然について、自ら調べ学ぶ機会を生み出すとともに、身近な自然を大切に育むことができた。	予算額：850,000円 決算額：801,059円
5-4 ミニ水族館の維持管理 【地域振興課】	多摩区役所を安らぎと潤いのある環境にし、郷土の多摩川をより身近に感じてもらうため、多摩川に生息する魚類を総合庁舎1階アトリウムに設置した水槽で飼育し、ミニ水族館として来庁する区民向けに展示する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成2年度	○水族館の維持管理に必要な備品の交換 ○多摩川に生息する淡水魚等を飼育管理し、多摩川を身近に親しむ機会を提供 水槽展示により、多摩川に生息する生物を紹介し、多摩区のキャッチフレーズである「水と緑と学びのまち多摩区」の象徴である多摩川について、区民に理解と愛着を深めてもらうことができた。 また多摩区総合庁舎を温もりと潤いのある環境とし、区民に行政を身近に感じてもらうことができた。 新庁舎移転時に設置した備品が老朽化したため、一部機材の交換を行った。	予算額：942,000円 決算額：895,884円

<p>5-5 郷土芸能推進事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>かけがえのない貴重な資源である多摩川を多くの人に親しんでいただき、関心を持ってもらうために多摩川流域に根付き、伝承されている郷土芸能を一同に集めたフェスティバルへ参加し、流域の観光・商業の振興を図る。実行委員会を構成する自治体として山梨県小菅村、丹波山村、東京都府中市、奥多摩町、狛江市及び川崎市(多摩区)が参画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：多摩川流域住民 ■事業形態：直営 ■実施主体：地域振興課 ■開始時期：平成 21 年度 	<p>○多摩川流域郷土芸能フェスティバルの開催 12/2(日) 狛江エコルマホール 参加人数約 500 人</p> <p>狛江エコルマホールでの多摩川流域郷土芸能フェスティバルの開催によって、多摩区の伝統芸能である多摩川音頭・梨もぎ音頭を披露することができ、参加者の方々に、かけがえのない貴重な資源である多摩川の郷土芸能に関心を持っていただき、より多摩区に親しみを感じてもらうことができた。</p> <p>また、多摩川流域の観光の振興が図られた。</p>	<p>予算額：100,000 円 決算額：100,000 円</p>
<p>5-6 多摩区・3 大学連携事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>多摩区と区内 3 大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)で構成する「多摩区・3 大学連携協議会」(平成 17 年 12 月設立)の運営により、大学と地域の交流連携を図るとともに、地域の様々な課題を掘り起こし、大学と連携して実践的な取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：専修大学、明治大学、日本女子大学及び区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：多摩区・3 大学連携協議会 ■開始時期：平成 18 年度 	<p>○各大学と連携した大学・地域連携事業の実施 ○コンサートや駅伝を活用したイベントの実施</p> <p>区と大学が連携した取組として、3 大学連携協議会にて協議を行い、専修大学「かわさきワンセグ×かわさきFM「たまキャンパスライブ」番組配信事業」、明治大学「まちなか研究室(地域住民の交流拠点)の創出事業」、日本女子大学「寺尾台団地における高齢者への生活支援事業」を実施し、3 月 16 日に実施した「3 大学連携フェア」にて取組を広く区民へ周知した。</p> <p>また 10 月 13 日に開催した 3 大学コンサートでは、650 名程度の来場者数があった。その他、駅伝の応援イベント、インターンシップ(4 名)等、大学と協力した様々な事業を行った。</p>	<p>予算額：2,679,000 円 決算額：2,297,636 円</p>
<p>5-7 多摩区制 40 周年記念事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】 【生涯学習支援課】</p>	<p>40 周年を迎えるにあたって、区民や地域と連携して周年事業の準備を行う。また実施できるイベントについては、23 年度から実施していく。イベントを実施することによって、多摩区の文化や歴史などに関する区民の意識を高めるとともに、自分たちの住んでいる多摩区に郷土愛を持ってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成 23 年度(新規事業) 	<p>○40 周年を記念したイベントを 30 事業実施</p> <p>40 周年を記念したイベントを実施することによって、多摩区の文化や歴史などに関する区民の意識を高めるとともに、自分たちの住んでいる多摩区に郷土愛を持ってもらうことができた。</p> <p>区内 3 大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)と連携して、大学の知的資源を活用して多摩区の歴史に関わりある講座を開催するとともに、区民から要望の多い大学キャンパスの案内を組み合わせた「3 大学知的探訪」を実施した。3 大学知的探訪は、明治大学 10 月 15 日、専修大学 11 月 12 日、日本女子大学 12 月 3 日の開催となった。</p> <p>また 1 月 27 日には、40 周年を記念して NHK ラジオ公開番組「上方演芸会」を多摩市民館にて公開収録した。</p>	<p>予算額：869,000 円 当初予算額：837,000 円 決算額：504,561 円</p>
<p>5-8 観光振興・タウンセールス推進事業(局区連携事業)</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>「藤子・F・不二雄ミュージアム」の開館 1 周年や、「かわさき宙と緑の科学館」リニューアルオープンの機会をとらえ、地元多摩区でのイベントや名産品開発等の取組を区民との協働により行う。また、観光人材の育成として、観光ボランティアガイドブラッシュアップセミナーや区制 40 周年記念ツアーを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成 23 年度(新規事業) 	<p>○「かわさき宙と緑の科学館」リニューアルオープンに伴う名産品開発 ○観光ボランティアガイド育成のためのブラッシュアップセミナー開催 ○観光ボランティアガイドとの連携による、区制 40 周年記念ツアーの実施 ○「藤子・F・不二雄ミュージアム」開館 1 周年記念イベントの開催</p> <p>平成 24 年 4 月の「かわさき宙と緑の科学館」リニューアルオープンを記念し、区内大学生のアイデアを取り入れ、商店街連合会、菓子協議会等との協働により、名産品開発を行った。また、「藤子・F・不二雄ミュージアム」開館 1 周年記念イベント「わく多ま！」を開催し、1,800 人の来場者があった。</p> <p>多摩区観光ボランティアガイド育成のためのブラッシュアップセミナーを実施し、25 名が当該セミナーを終了した。さらに、セミナー受講者による区制 40 周年記念ツアーを企画・実施した。</p>	<p>予算額：12,570,000 円 決算額：12,370,890 円</p>

VI 地域コミュニティ活性化推進事業費

予算額 14,098,000円

決算額 12,790,622円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
6-1 地域コミュニティの活性化促進事業 【地域振興課】	平成22年度に行なったアンケートの検討結果や昨年度実施した町内会・自治会の情報発信に関する事業をうけ、地域資源・特色を活かした町内会・自治会の情報発信の手法を検討し、地域コミュニティの活性化の促進を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：地域振興課 ■開始時期：平成20年度	○地域コミュニティ活性化促進委員会会議 4回 ○多摩区の町会自治会活動を紹介するホームページの開設 ○町会自治会への加入促進ポスターの作成、町会自治会掲示板、区内公共施設、主要駅への掲出 アンケートの結果を踏まえ、IT利用による町会自治会活動の活性化をテーマに、町会自治会活動に参加していない(未加入を含む)方への情報発信を強化するためのホームページの開設、ポスターの作成・掲出を実施した。 ホームページの作成にあたっては、区内大学ゼミ生に協力を依頼し、町会自治会活動にあまり参加していない若年世代の視点をページに反映させた。	予算額：1,021,000円 決算額：990,150円
6-2 多摩まちかど祭開催事業 【地域振興課】	区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催して、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちかど祭実行委員会 ■開始時期：平成3年度	○多摩まちかど祭を開催 10/20(土)に生田緑地内で17団体 大人141人、子ども107人が出演。参加者延べ72,000人 区民公募により、大人から子どもまで幅広い層の出演者による舞台公演が実施された。伝統芸能やダンス、コーラスなどを披露する場を身近な地域に設定することで、文化・芸術の発信の場とすることができた。また、5組の初参加者や区民祭オープニングパレードに参加協力するなど、区民がふれあい憩える場の提供ができ、地域コミュニティの形成にも貢献できた。	予算額：800,000円 決算額：800,000円
6-3 まちづくり推進事業 【地域振興課】	区内のまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を、多摩区民の自主的活動組織である「多摩区まちづくり協議会」と川崎市とで協働して行う。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちづくり協議会 ■開始時期：平成12年度	○まちの課題を解決するためのプロジェクト活動 ○区内で活動する市民団体との意見交換会(たまサロン) ○まちづくり活動発表会(まちカツ!)の開催 ○座学研修・視察研修(多摩まち大学)の開催 ○広報紙の発行等、広報の充実に向けた取組 市民活動団体の活動・成果の紹介、情報交換ができるまちづくり活動発表会「まちカツ!」を開催した。市民活動やボランティアに役立つ学びの場として「多摩★まち大学」を年5回開催した。 また新たな取り組みとして、カフェのような雰囲気の中で市民活動団体の情報交換・交流の場を提供する「多摩★まちCafe」を年2回開催した。 さらに、具体的な課題解決の取り組みとして2つのプロジェクト活動を行った。 中間支援的活動として、意見交換会や活動発表会を通じた市民活動団体及び区民の交流の場や学習の場の提供を進め、またプロジェクト活動においては個々の取り組みを進め、一定の成果を残すことができた。	予算額：4,962,000円 決算額：4,865,019円
6-4 市民活動支援事業 【地域振興課】	多摩区内の市民活動が自主的・自立的に発展していくための「活動の場」として、多摩区役所及び生田出張所内に「多摩区民活動・交流センター」を設置し、多摩区内で市民活動を行う団体に利用開放する。 多摩区民活動・交流センター運営委員会との協働による多摩区民活動・交流センターの管理運営を行うとともに、利用団体間の交流を深める。 ■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■事業形態：直営 ■実施主体：地域振興課 ■開始時期：平成13年度	市民による自主的かつ自立的な管理運営を実践するため、利用登録団体からなる「多摩区民活動・交流センター運営委員会」を設置し、多摩区民活動・交流センターの管理運営について協議・検討を行うとともに、利用登録団体同士の情報交換・交流を図り、市民活動の拡大・発展を図るため、団体間の交流を促す事業を実施した。	予算額：4,491,000円 決算額：3,315,788円

<p>6-5 公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業 (局区連携事業) ※区民会議関係</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>第2期多摩区区民会議(平成20～21年度)提言を踏まえて、高齢社会への対応や子育て世代への支援策として「公園を拠点としたコミュニティづくり」に取り組み、コミュニティの活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：企画課 ■開始時期：平成23年度(新規事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ○推進委員会の設置と開催 4回 ○区内公園2か所で関係団体による交流会の開催 2回 ○学識経験者による講演、意見交換 1回 ○報告書の作成 <p>委員の推薦・日程調整に時間を要し、推進委員会の立ち上げが遅れたが、スムーズな委員会の進行に努め、11月中に交流会を2回開催できた。交流会では、地域住民の参加が少なかった点があるが、関係団体・行政関係部署の間で情報交換が図れ、お互いの活動内容や活動上の課題を共有することができた。</p> <p>フォーラムの開催については、課題の把握等の点で時期尚早との意見が推進委員会で出たため、学識経験者による講演・意見交換会の形で開催することとし、公園を拠点としたコミュニティづくりのための方策の理解を深めることができた。</p> <p>本年度の取組を報告書にまとめた。</p>	<p>予算額：2,824,000円 決算額：2,819,665円</p>
--	---	---	--

Ⅶ 区役所サービス向上事業費

予算額 4,868,000円 (当初予算額 3,705,000円)

決算額 3,645,460円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
<p>7-1 窓口サービス改善推進事業</p> <p>【区民課】 【保険年金課】 【保健福祉サービス課】</p>	<p>区役所利用者の快適性・利便性の向上をめざして窓口サービス機能再編に伴う「区役所快適化リフォーム事業」と連携した取組を実行する。</p> <p>窓口職員の意識の向上を図るための研修等を継続的に実施する。</p> <p>PDCA サイクルに基づき評価・改善し、多摩区役所サービス向上委員会を活用した実効性のある取組を推進する。</p> <p>■事業対象：多摩区総合庁舎来庁市民、区役所職員 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所区民課 ■開始時期：平成22年度</p>	<p>○区民課証明発行コーナーの開設 6月 ○新たな番号表示システムの導入 6月 ○職員向けサービス向上研修の実施 全14回</p> <p>「区民課証明発行コーナー」と「行政情報の発信も可能な新たな番号表示システム」は、開設・導入することができ、職員向け区役所サービス向上研修もアンケート結果などから、その成果が期待できる充実した内容になった。以前から取り組んでいる、区民課・保険年金課が一体となって管理をしている「子供連れの来庁者が安心して手続きできる窓口環境整備のための待合フロアに設置したキッズコーナーの運営」や、「区役所機能再編による変更点を盛り込んだチラシ『多摩区総合庁舎のご案内』の発行」といった事業も引き続き展開し、特にチラシについては今年度初めて3か国による外国語版の発行も行い、更なる窓口サービスの改善が図られた。</p>	<p>予算額：3,706,000円 当初予算額： 2,543,000円 (緊急対応経費から 流用：1,163,000円)</p> <p>決算額：3,309,460円</p>
<p>7-2 区役所ホームページリニューアル事業</p> <p>【企画課】</p>	<p>多摩区ホームページは、17年度にリニューアルを行ってから、更新作業を職員が行ってきた。前回リニューアル当初は想定していなかった、区民会議の開催、3大学連携協議会の発足、観光推進協議会の発足などがあり、ページ全体として統一感が欠けてきている。</p> <p>効果的な情報発信を行うため、区役所ホームページのリニューアルを検討する。検討にあたっては、全市的なホームページの改修の状況を見ながらリニューアルの実施を行う。</p> <p>■事業対象：市民、区役所職員 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成23年度(新規事業)</p>	<p>○見やすいホームページの検討 ○全市的なホームページ改修を考慮し、区役所ホームページのリニューアルを実施 ○区役所職員へのホームページ運用研修の実施</p> <p>区役所ホームページのリニューアルを予定していたが、全市的なホームページリニューアルが24年度になり、区役所ホームページも全市のリニューアルの一部として行うこととなった。</p> <p>リニューアルに伴い、ホームページを見直した結果、多摩区総合庁舎及び生田出張所のフロア案内図(画像データ)等をウェブアクセシビリティに配慮する必要があり、修正を行った。そのほか、区役所職員へのホームページ運用研修を実施し、区職員のスキルアップを図った。</p>	<p>予算額：1,162,000円 決算額：336,000円</p>

Ⅷ 地域課題対応事業その他経費 **予算額 3,432,000円 (当初予算額 5,215,000円)** **決算額 2,631,614円**

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
8-1 磨けば光る多摩事業 【企画課】	<p>多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置づけた上で、提案者に委託する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課、区内で活動する市民活動団体 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>以下の3事業が選定され、事業実施した。</p> <p>○子ども大人も楽しく学べるエコバスで体験型環境学習事業 ○多摩区地域交流とアクティブシニアのためのセカンドライフ講座事業 ○花・音楽等による協働まちづくり(2年目事業)</p> <p>地域における課題が多様化し複雑化しており、市民活動団体のノウハウを生かすことにより、各事業について多くの参加者を集め、好評を得ることができた。</p> <p>また、提案事業の審査については、公開プレゼンテーションを実施し、事業終了後に報告会を実施して評価・検証することにより、事業の透明性の確保及び今後の事業を実施するうえでの改善点などを明確化することができた。</p> <p>さらに、市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働のしくみづくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：2,203,000円 決算額：1,997,883円</p>
8-2 緊急対応経費	緊急課題や区民要望に対応すべき事業のための予備費。	<p>「5-0 パートナーシップ連絡会開催事業 588,000円 「5-7 多摩区区制40周年記念事業への流用： 32,000円 「7-1 窓口サービス改善推進事業」への流用： 1,163,000円</p> <p>流用額合計：4,439,000円</p>	<p>調整後予算額：463,000円 当初予算額：2,246,000円 決算額：0円</p>
8-3 共通事務経費	地域課題対応事業費の共通事務経費。	地域課題対応事業で共通に必要な物品(印刷機インク等)を購入した。	<p>予算額：766,000円 決算額：633,731円</p>

I 安全・安心まちづくり事業費	予算額 2,441,000円	決算額 2,406,474円
II 地域福祉・健康づくり事業費	予算額 1,512,000円	決算額 1,467,171円
	(当初予算額 924,000円)	
III 総合的こども支援事業費	予算額 15,032,000円	決算額 14,416,492円
IV 環境まちづくり事業費	予算額 545,000円	決算額 491,342円
V 地域資源活用事業費	予算額 29,316,000円	決算額 28,178,476円
	(当初予算額 29,284,000円)	
VI 地域コミュニティ活性化推進事業費	予算額 14,098,000円	決算額 12,790,622円
VII 区役所サービス向上事業費	予算額 4,868,000円	決算額 3,645,460円
	(当初予算額 3,705,000円)	
VIII 地域課題対応事業その他経費	予算額 3,432,000円	決算額 2,631,614円
	(当初予算額 5,215,000円)	
合計	予算額 71,244,000円	決算額 66,027,651円